

## 知見の囿炉裏端

## 海外のニュース



技術経営士の会 白田 誠次郎



日本の地上波テレビでも海外のニュースは時たま放送されます。しかしその殆どは、現在ではコロナの話が中心で、あとは大事件・大災害、また日本での事件の対比等で取り上げるといったところです。少し前はノートルダム火災の件が、いろいろな角度から放映されていましたが、最近はそれもほとんどフォローされていないようです。

時々、アメリカ、中国、韓国、北朝鮮等の報道がありますが、大体ワンパターンです。アメリカで言えば選挙や人種問題、乃至は景気の問題か軍事問題などです。ほかの国の話があるとすると、大事件・大災害以外は旅行・観光の話が中心です。

ただ、BSになると少し様子が変わって、特にNHKでは海外の放送局の放送を一部そのまま流しています。何故BSではそうして、どういった基準で海外の放送局を選択し、またどの放送時間帯のものを流すのが適切と考えているのか、は良くわかりません。

地上波テレビでの海外のニュースが少ないことは以前から感じていましたが、これが日本だけなのか、海外でも同じなのかは良くわかりません。

しかし欧州諸国では自動的に隣接諸国から電波が入ってきますし、少なくとも隣接諸国プラスαの広い範囲の諸国の放送を見ることができると聞いています。

日本で海外のニュースが少ないのは、見る側の問題でもあります。

日常的に海外のニュースを流しても視聴率は極めて少ないと思われるので、少なくとも民放ではスポンサーが付きにくく、結局やめておこうかということになるのかもしれない。

実際、我々の日常生活では事件でもない限り海外のニュースを見る必然性は低いと思います。しかし日頃から自分の周りの世界とは違う社会の動きを見ることは、独りよがりになったり、これしかないと思いつく思い込みを防ぎ、井の中の蛙に陥らないための大事な要素だと思います。見たい番組がない場合でも何となくテレビをつけっ放しにすることがありますが、そんな時に最適だと思います。

費用や視聴率等の面からなかなか民放にはできないと思いますが、少なくともNHKは公共放送として地上波放送で、Eチャンネルとかサブチャンネルを利用して海外のニュースをもっと放映してほしいと思います。BSでは既に放送しているので放映権の問題はないでしょうし、設備的に特別な対策をする必要もないので大幅な費用が掛かるとは思えません。海外ニュースは教育的にも無駄ではないですし、やり方は要約して解説的に放映してもよいし、二か国語放送か字幕付きの原語で放映しても面白いと思いますので、実現して欲しいと思っています。